

消青総第 229 号
令和 8 年 6 月 22 日

自治会・町内会長 各位

青葉消防署
署長 佐藤 俊作

令和 8 年度青葉区家庭防災員研修受講者の推薦等について（依頼）

向夏の候 ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃から、消防行政の推進に御協力いただき厚くお礼申し上げます。

さて、令和 8 年度におきましても、多くの区民の方々に、防火・防災に関する必要な知識と技術を習得していただくため、家庭防災員研修を実施します。

つきましては、推薦方法等を御確認のうえ、受講者の推薦及びチラシの掲出をお願いします。

1 研修日時・場所

資料 1 「青葉区家庭防災員研修日程表」を御参照ください。

2 研修受講者の要件

満 15 歳以上の青葉区在住の方

※過去に家庭防災員の研修を修了した方も受講できます。

3 推薦方法等

(1) 自治会・町内会長からの推薦

令和 8 年 8 月 31 日（月）までに、研修受講希望者を取りまとめ、資料 2 「推薦者専用申込書」に必要事項を御記入のうえ、下記の青葉消防署総務・予防課予防係の電子メールアドレス宛に添付のうえ、御送付をお願いします。

【青葉消防署総務・予防課予防係 電子メールアドレス】

sy-aoba-yobo@city.yokohama.lg.jp

※電子メールを送付できない場合については、青葉消防署総務・予防課予防係の担当者に御連絡のうえ、窓口にて御提出をお願いします。

(2) 個人からの応募

令和 8 年 7 月 13 日（月）から 8 月 31 日（月）までに、「横浜市電子申請システム」により、お申し込みをお願いします。

なお、定員になり次第、締め切ります。

※資料 3 の「家庭防災員研修受講者募集」のチラシを御参照ください。

裏面あり

4 募集人数

120人（自治会・町内会長での推薦：70人、個人からの応募：50人）

※定員になり次第、締め切ります。

5 その他

- (1) 昨年度に引き続き、個人からの応募も受け付けますので、資料3の「家庭防災員研修受講者募集」のチラシを、各自治会・町内会所有掲示板に掲出していただきますようお願いいたします。
- (2) 家庭防災員研修等について御不明な点がございましたら、下記担当までお問い合わせください。

6 添付資料

- (1) 資料1 「青葉区家庭防災員研修日程表」
- (2) 資料2 「推薦者専用申込書」
- (3) 資料3 「青葉区家庭防災員研修受講者募集」 チラシ

【担当】

青葉消防署 総務・予防課 予防係

田中、川口、知久

TEL/FAX 045-974-0119

(内線) 22、30、66、

令和 8 年度 青葉区家庭防災員研修日程表

1 家庭防災員研修について

大切な人を守るため、どなたでも「防火・防災」について学べる研修です。

2 研修内容

消火器の取扱い訓練、心肺蘇生法、AED 取扱い訓練、
マイタイムライン作成（地震・風水害）



3 研修日程

番号	日時	会場
①	10月3日（土） 13時30分～15時30分	青葉公会堂 2階 1号会議室 市ケ尾町 31-4
②	10月4日（日） 10時～12時	青葉公会堂 2階 1号会議室 市ケ尾町 31-4
③	10月4日（日） 13時30分～15時30分	青葉公会堂 2階 1号会議室 市ケ尾町 31-4
④	10月5日（月） 10時～12時	青葉公会堂 2階 1号会議室 市ケ尾町 31-4 ＜一時託児あり＞

※一時託児は、未就学児（1歳から6歳まで）が対象となります。

【推薦者専用申込書】※自治会・町内会長 推薦用

※令和8年8月31日(月)までに

下記の電子メールアドレスあてに御送信ください。

【電子メールアドレス】青葉消防署総務・予防課予防係
sy-aoba-yobo@city.yokohama.lg.jp

自治会・町内会名	
会長名	
住所	
電話番号	

【記入方法】

① 氏名、フリガナ、住所、電話番号を全て御記入ください。

② 氏名は楷書で、住所は棟室番号まで御記入ください。

※ 同意事項に同意する場合は推薦する受講者に必ず確認のうえ、にチェックを御記入ください。

①	フリガナ		住所 TEL	青葉区	第1希望	第2希望	託児希望
	氏名			TEL			
	同意事項 (<input type="checkbox"/> にチェック)	<input type="checkbox"/> 申込内容や受講状況を、お住いの <u>連合自治会</u> へ提供されることに同意します。					
②	フリガナ		住所 TEL	青葉区	第1希望	第2希望	託児希望
	氏名			TEL			
	同意事項 (<input type="checkbox"/> にチェック)	<input type="checkbox"/> 申込内容や受講状況を、お住いの <u>連合自治会</u> へ提供されることに同意します。					
③	フリガナ		住所 TEL	青葉区	第1希望	第2希望	託児希望
	氏名			TEL			
	同意事項 (<input type="checkbox"/> にチェック)	<input type="checkbox"/> 申込内容や受講状況を、お住いの <u>連合自治会</u> へ提供されることに同意します。					
④	フリガナ		住所 TEL	青葉区	第1希望	第2希望	託児希望
	氏名			TEL			
	同意事項 (<input type="checkbox"/> にチェック)	<input type="checkbox"/> 申込内容や受講状況を、お住いの <u>連合自治会</u> へ提供されることに同意します。					

※上記に記載された個人情報、家庭防災員研修以外には使用しません。

※各自治会・町内会長からの推薦は原則4人までとします。

(4人を超える場合は、担当者まで御相談ください。)

※研修日程(下記の日程から第1希望・第2希望を選択し、上記の表にそれぞれ番号で記入してください)

番号	日時	会場	一時託児
①	10/3(土) 13:30~15:30	青葉公会堂 2階1号会議室 市ケ尾町31-4	
②	10/4(日) 10:00~12:00	青葉公会堂 2階1号会議室 市ケ尾町31-4	
③	10/4(日) 13:30~15:30	青葉公会堂 2階1号会議室 市ケ尾町31-4	
④	10/5(月) 10:00~12:00	青葉公会堂 2階1号会議室 市ケ尾町31-4	あり

●一時託児について

- 1 一時託児は、10月5日（月）のみ利用可能となっております。
- 2 御希望の受講者は、表の第1希望欄に「10/5（月）」を選択していただき、託児希望欄に○印を付けてください。
- 3 一時託児は、未就学児（1歳から6歳まで）が対象となります。
- 4 お申込みの状況によっては、御希望に添えない場合があります。

●その他

- 1 どの日程も同内容の研修を予定しています。
- 2 状況により、受講者へ日程調整の御連絡をさせていただく場合があります。
- 3 一時託児を御希望の受講者には、後日、消防署から連絡をさせていただきます。
- 4 本申込書は内容を控えるなどして、保管してください。

家庭防災員研修受講者募集

大惨事！ 事前に備え！ 被害なし！

「家庭防災員研修」は

大切な人を守るため、どなたでも「防火・防災」について学べる研修です。

研修内容

※内容は変更となる場合があります



消火器の取扱い訓練



心肺蘇生法、AED取扱い訓練

マイ・タイムライン作成(風水害・地震研修)



対象

区内在住の満15歳以上で

- ①自治会・町内会長から推薦された方
- ②個人で応募される方

申込期間

令和8年7月13日(月)～令和8年8月31日(月)

研修日程

番号	日時	会場
①	10月3日(土) 13時30分～15時30分	青葉公会堂 2階1号会議室
②	10月4日(日) 10時～12時	青葉公会堂 2階1号会議室
③	10月4日(日) 13時30分～15時30分	青葉公会堂 2階1号会議室
④	10月5日(月) 10時～12時	青葉公会堂 2階1号会議室 ※一時託児あり

※一時託児は、未就学児(1歳から6歳まで)が対象となります。

個人で応募される方は
こちらから

詳しくはこちら
青葉消防署ホームページ

(横浜市電子申請・届出システム 二次元コード)

※二次元コードが利用できない場合はお問合せください。

【お問合せ先】

青葉消防署総務・予防課 ☎045-974-0119

青葉消防署 家庭防災員研修

検索



第13回 青葉区民 マラソン大会

2026.11.29 [Sun]
AM 9:05

雨天決行(荒天中止)

今年もこの季節が
やってきた

大会アンバサダー
有森裕子さん

青葉区の皆さん、
今年も元気に走りましょう!
大会でお会いできるのを楽しみにしています。

募集
期間

7.28[Tue] ▶ 8.3[Mon]

先着順 AM7:00受付開始
インターネット・携帯サイトから申し込み

参加費6,000円
※別途手数料がかかります



横浜マラソンチャレンジ枠対象事業

特別協賛



東急

【主催】青葉区民マラソン運営委員会/青葉ふるさと協議会 【共催】青葉区役所/横浜マラソン組織委員会
【協力・協賛】青葉区スポーツ推進委員連絡協議会/青葉区青少年指導員連絡協議会/青葉区スポーツ協会/青葉交通安全協会/青葉警察署/青葉消防署/日本体育大学/学校法人桐蔭学園/
コナミスポーツ株式会社/青葉区民文化センター/青葉公会堂/大塚製薬株式会社/株式会社三井住友銀行/青葉区商店街連合会/横浜農業協同組合中里支店/株式会社東急コミュニティー 青葉台フォーラム/
青葉自動車学校/トヨタモビリティ神奈川/イツ・コミュニケーションズ株式会社/中日本高速道路株式会社/横浜総合病院/昭和医科大学藤が丘病院/青葉区医師会ランニングクラブ/東急電鉄株式会社/
東急スポーツシステム株式会社 (順不同)

青葉寄席

7月13日(月)

チケット
予約・発売開始!

落語
林家錦平

山
梅



山口君と
竹田君

日時

2026年9月26日(土) 13:30開場/14:00開演

会場

青葉公会堂 講堂 横浜市青葉区市ケ尾町31-4
田園都市線「市が尾駅」より徒歩10分

料金

全席指定 大人 2,000円/ペア(大人2人) 3,500円
こども 1,000円(中学生以下) ※未就学児入場不可



開口一番
林家うどん

▶お申込み・お問い合わせ

青葉公会堂 ☎045-978-2400

出演者プロフィール

林家錦平

落語

横浜市青葉区出身 青葉区在住

昭和50(1975)年 林家三平(初代)に入門
前座名「うし平」

昭和55(1980)年 二つ目昇進
「錦平」と改名

平成2(1990)年 真打昇格
人情噺から各種イベントの司会まで幅広く活躍中

出囃子 大漁節

紋 中陰花菱

(ちゅうかげはなびし)



©でんでん

コント 山口君と竹田君

お笑いスター誕生(日本テレビ 1984年)で初出場優勝デビュー。
ゴールデンアロー新人賞(1984年)
日本放送演芸大賞最優秀ホープ賞(1984年)
花王名人大賞(1985年・1986年)等を受賞。

2人のコントは今尚健在で日々進化を続け、
全国に名を馳せるコントグループとして、
関東筆頭のポジションを築いている。



山 梅

マジック

大阪出身

高校生の時からマジックをはじめ
2022年に大阪の女性マジシャンと2人でマジック全国ツアーを開催
2022年には全国8ヶ所、2023年には10ヶ所をまわる
2023年 落語協会正会員となる

慶應大学文学部仏文科卒
きものクイーンコンテスト2025ビューティー賞受賞

出囃子 虹の彼方に



林家うどん

香川県普通寺市出身



令和5(2023)年10月

二代目 林家三平に入門

令和6(2024)年6月1日 前座となる

▶チケットについて

7月13日より、青葉公会堂窓口にてチケットの予約・販売をいたします。(受付時間:午前9時~午後8時)
チケットご購入後の座席の変更・返金はいたしかねます。ご了承ください。

事前のお引換え、当日のお引換え、どちらも可能です。

当日お引換えをご希望の場合は、予約時にその旨をお伝えください。
また、公演当日は出来るだけお釣りの無いように代金をご用意くださるようお願いいたします。

アクセス

- 東急田園都市線「市が尾駅」下車
徒歩10分
- JR 中山駅、小田急線柿生駅、
東急線市が尾駅よりバス
「青葉区総合庁舎」下車すぐ

駐車場は有料となります。駐車台数に限りがあります。
また、路上に停車しての入庫待ちは出来ません。
出来るだけ公共の交通機関をご利用ください。



横浜グリーンエクスポにおける横浜市出展ボランティアの募集について【情報提供】

1 趣旨

横浜市は、地球にやさしい暮らしや身近な環境との関わりを体感いただくため、横浜グリーンエクスポ会場内に「建物空間を活用した発信拠点」と「フィールドを活用した活動拠点」の2つの拠点を設けます。2つの拠点をともに盛り上げ、支えていただくボランティアを7月から募集します。


2 お願いしたいこと

【区連長】ご承知おきください。

【地区連長】地区連合定例会等での情報提供をお願いします。

【単位会長】単位会長宛てにリーフレット等を送付しますので、定例会等での情報提供をお願いします。







3 募集概要

	プログラム運営補助 (約 700 人)	ツアーガイド (約 100 人)	フィールドづくり (約 200 人)
活動内容	様々な体験プログラムの運営サポート	草花の魅力や生き物との共生等を来場者に案内	花や緑の育成・管理等
対象	2027年4月2日時点で、満15歳以上（中学生を除く）かつ市内在住・在学・在勤の方		
活動	・プログラム運営補助：1日以上 ・ツアーガイド、フィールドづくり：5日以上 (1日あたり4時間程度)		
募集期間	2026年7月1日(水)～8月14日(金)		
応募	ウェブサイト(インターネット)からご応募ください (7月1日受付開始、二次元コードからもアクセス可) https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/engeihaku/volunteer.html ※3種類の重複応募可 ※エクスポ全体のボランティア(花・緑ガイド、植物管理、運営)への応募者も応募可。 ※応募多数の場合は抽選		
問合せ先	横浜市出展ボランティア問合せセンター 【受付期間：2026年7月1日(水)～8月14日(金)】 TEL：0120-598-548(平日10:00～17:00 ※土日祝休み)		

【参考】リーフレットの主な配布先

公園愛護会、環境事業推進委員、ハマロード・サポーター、水辺愛護会等

【参考】横浜市民の皆様にご参加いただけるボランティア

種類	活動内容	活動場所	募集期間	募集主体
 プログラム 運営補助 (約700人)	様々なワークショップの運営 補助等	横浜市 出展 エリア	7月1日～ 8月14日	横浜市
 ツアーガイド (約100人)	フィールドを活用した活動拠 点をめぐり、見どころを紹介			
 フィールドづくり (約200人)	フィールドを活用した活動拠点 における花・緑の育成・管理等			
 花・緑ガイド (約200人)	会場内の花壇等の見どころ紹介	EXPO全体	募集終了	GREEN×EXPO協会
 植物管理 (約2,000人)	会場内の花壇等の手入れ・除草 等のサポート			
 運営 (約10,000人)	会場内外での来場者案内・運営 サポート			

※ エクスポ全体のボランティア（花・緑ガイド、植物管理、運営）募集結果
応募総数 32,679 件（複数応募含む）、募集人数 12,200 人に対し約 2.7 倍

脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課
電話 045-671-4627 / FAX 045-212-1223
メール da-greenexpo@city.yokohama.lg.jp

横浜市出展ボランティア ユニフォーム

環境にやさしい植物由来の素材を採用し、使用後は堆肥となる資源循環型のユニフォームです。

ボランティアの皆様には、活動に応じてウィンドブレーカー、Tシャツ、帽子、エプロン、バッグなどを貸与する予定です。

また、緑のカラーは植物・自然との親和性を表し、胸元には「YOKOHAMA」の文字がデザインされています。

こうした環境配慮型のユニフォームを着用して活動するボランティアの皆様を介して、横浜市は循環型都市の実現に向けた取組を発信していきます。



※活動によってユニフォームは異なります

GREEN×EXPO 2027 開催概要

横浜市の旧上瀬谷通信施設を舞台に開かれる、世界の花・緑や、環境にやさしい未来をつくる最新技術が集う万国博覧会（万博）です。



詳細は公式
WEBサイトへ



※建物の形状、配置を含め、画像は現時点でのイメージです
画像提供：GREEN×EXPO 協会

【開催期間】 2027年3月19日（金）～9月26日（日）

【開催場所】 旧上瀬谷通信施設（瀬谷区・旭区）

【テーマ】 幸せを創る明日の風景

【開催者】 GREEN×EXPO協会

（公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会）

横浜グリーンエキスポは、「環境との共生」をテーマにした横浜で初めての万博です。ホストシティである横浜市は、会場内に2つの拠点を設け、地球にやさしい暮らしや環境との関わりを、来場者の皆様に体感していただけます。1つは、循環型の未来のまちを体験できる「建物空間を活用した発信拠点」。そしてもう1つは、市民の皆様が主役の「フィールドを活用した活動拠点」です。

循環型の暮らしをはじめのきっかけを、国内外からの来場者にお届けする、唯一無二の特別な場所。その運営を共に支えていただくボランティアの皆様が着用するユニフォームには、植物由来の素材を用い、使用後に堆肥化するなど、資源循環の理念を体現しています。

新たなグリーン社会を横浜から世界へ発信する—この特別な体験を共に作りあげるボランティアとして、是非御参加ください。



横浜市長 山中 竹春

このリーフレットに
関するお問合せ

横浜市脱炭素・GREEN×EXPO推進局

TEL：045-671-4627 E-mail：da-greenexpo@city.yokohama.lg.jp

2026年6月作成

横浜グリーンエキスポ 市民の皆さまと、世界の舞台に！



公式マスコットキャラクター
トウクトウくん

横浜市が出展するエリアで ボランティアとして参加してみませんか？



あなたに合った
活動が見つかる！ **3つのボランティア**

プログラム運営補助

ツアーガイド

フィールドづくり

募集対象：横浜市内在住・在学・在勤の方

横浜市が出展するエリアでボランティアとして参加してみませんか？



横浜市は、地球にやさしい暮らしや身近な環境との関わりを体感いただくため、会場内に「建物空間を活用した発信拠点」と「フィールドを活用した活動拠点」の2つの拠点を設けます。2つの拠点をともに盛り上げ、支えていただくボランティアを募集します。

※横浜市内在住・在学・在勤の方のみ応募可能です。

募集期間

2026年7月1日(水)～8月14日(金)



ご応募はこちら

1 プログラム運営補助 募集人数▶約700人

脱炭素技術や生物多様性などを体験する様々なプログラムの運営補助等を行います。

2 ツアーガイド 募集人数▶約100人

フィールドを活用した活動拠点をめぐり、草花の魅力や生き物との共生について来場者にわかりやすく案内します。

3 フィールドづくり 募集人数▶約200人

フィールドを活用した活動拠点において花や緑の育成・管理等を行います。



横浜市出展コンセプト

世界の明日を、 みんなでひらく



公式マスコットキャラクター トウンクトゥンク ©Expo 2027

建物空間を活用した発信拠点

資源やエネルギーの循環を身近に感じられる展示と体験を通して、地球にやさしい新しい暮らし方を提案

活動する
ボランティア

1 プログラム運営補助



フィールドを活用した活動拠点

横浜産植物を活用した美しい花壇やフィールドを舞台に、ガイドツアーやワークショップなど、子どもから大人まで誰もが楽しめる体験の場を提供

活動する
ボランティア

1 プログラム運営補助
2 ツアーガイド
3 フィールドづくり



お問合せ

横浜市出展ボランティア問合せセンター

受付期間：2026年7月1日(水)～8月14日(金)

TEL: 0120-598-548 (平日10:00～17:00 ※土日祝休み)

E-mail: yokohama-field@tsp-work.jp

自治会町内会長 各位

市地防第 179 号
令和 8 年 6 月 12 日

横浜市防犯のまちづくり推進条例の制定及び 横浜市防犯のまちづくり推進プランの策定【情報提供】

1 趣旨

近年、犯罪件数の増加や犯罪手口の多様化・巧妙化などにより、市民の暮らしが脅かされています。こうした中、誰もが安心して安全に暮らすことができる社会を実現するため、「横浜市防犯のまちづくり推進条例」を制定するとともに、本条例の目的を達成する基本計画として、「横浜市防犯のまちづくり推進プラン」を策定しましたのでご報告します。

本プランの推進にあたっては、市民及び事業者の皆様のご協力を得ながら、警察等の関係機関とも連携し、市役所一丸となって取り組んでまいりますので、今後もより一層のご理解・ご協力をお願いいたします。

2 お願いしたいこと

【区 連 長】プラン推進へのご協力をお願いいたします。

【地区連長】地区連合定例会等での情報提供及びプラン推進へのご協力をお願いいたします。

【単位会長】単位会長あてに資料を送付しますので、定例会等での情報提供及びプラン推進へのご協力をお願いいたします。

3 概要

(1) 条例の概要

別紙 1 のとおり

(2) プランの概要

ア 位置づけ

条例の目的達成に向け、総合的かつ計画的に施策を推進するための基本計画（条例第 7 条）となります。

イ 主な取組

別紙 2 のとおり

(3) 条例及びプランの策定経緯

年月	事項
令和 8 年 1 月	市連会・区連会において、条例案骨子及びプラン素案に対するパブリックコメントの実施説明
令和 8 年 1～2 月	条例案骨子及びプラン素案に対するパブリックコメントの実施
令和 8 年 5～6 月	市会第 2 回定例会で条例案審査及びプラン原案報告
令和 8 年 6 月 12 日	条例の公布及びプランの策定

市民局地域防犯支援課 川口・蔦井
電話：045-671-3705
電子メール：sh-chiikibohan@city.yokohama.lg.jp

横浜市防犯のまちづくり推進条例について

1 概要

目的	防犯のまちづくりについて基本理念を定め、市の責務並びに市民、事業者及び地域活動団体の役割を明らかにするとともに、防犯のまちづくりを総合的かつ計画的に推進するための基本的な事項を定め、市民の安心及び安全の確保に資することを目的とします。
定義	この条例において、 防犯のまちづくり とは、 市民等の防犯意識の啓発、犯罪の発生しにくい社会環境の整備その他防犯に係る取組を、市、市民等及び関係機関が協働し、連携して行うこと をいいます。
基本理念	市及び市民等は、誰もが安心して安全に暮らすことができる社会を実現するため、次の事項を基本として防犯のまちづくりに取り組みます。 ① 市民の安心及び安全を脅かすおそれが、身近に潜んでいる可能性があることを意識すること。 ② こども、高齢者その他防犯において特に配慮を要する者の安心及び安全の確保に努めること。 ③ 市内各地域の実情を踏まえた防犯の取組を、活力のある地域社会の形成にも資するよう総合的かつ継続的に推進すること。
本市の責務	国、神奈川県その他の関係機関と連携を図り、防犯のまちづくりに関する施策を策定し、実施します。
市民の役割	自らが犯罪被害を受けることを防止するよう必要な対策に努めるとともに、他の市民と支え合い、防犯のまちづくりに関する市及び関係機関の施策の実施に協力するよう努めます。
事業者及び地域活動団体の役割	事業又は活動を通じて、防犯のまちづくりに関する市及び関係機関の施策の実施に協力するよう努めます。
計画の策定	市は条例の目的を達成するため、防犯のまちづくりに関する施策を総合的かつ計画的に推進するための 基本的な計画 を策定します。また、計画を策定し、これを変更する場合は、市民等の意見を反映させるために必要な措置を講じます。
施策の推進	市は個人情報の保護等に配慮しつつ、データの分析、デジタル技術の積極的な活用等により、防犯のまちづくりに関する施策を推進します。

2 施行日

令和8年6月12日（公布の日）

横浜市防犯のまちづくり推進プラン概要

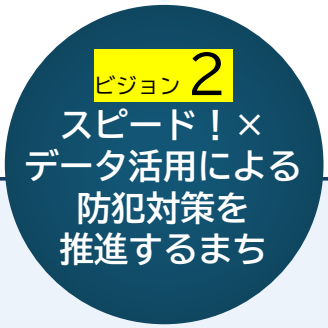
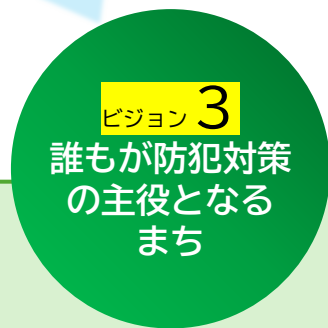
1 取組の全体像



先端技術で守る

自分たちのまちは
自分たちで守る

迅速・的確な
防犯データで守る



<重点取組>

- GISマップを活用した「暗がりの解消」
- 防犯灯を活用した地域の見守り強化

<重点取組>

- 「よこはま安心ボックス」の設置支援
- 地域防犯カメラの設置支援
- 「ながら見守り」の強化
- 「ハマパト」のモデル実施

<推進取組>

- 「こども・安全安心マップ」の活用
- AI防犯カメラのモデル導入の検討

<重点取組>

- データ活用による特殊詐欺対策の強化
- 防犯情報の迅速・効果的な発信

<推進取組>

- 地域防犯活動への支援
- 環境美化活動を通じた防犯対策
- 防犯の視点を取り入れた身近な公共空間づくり

<推進取組>

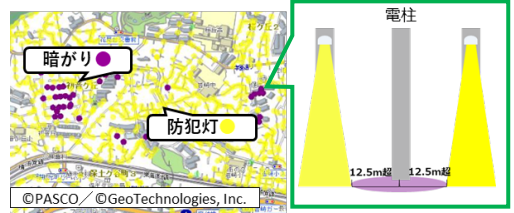
- 対象者に合わせた防犯啓発
 - ▶地域特性に応じた啓発
 - ▶教育・福祉と連携した啓発
 - ▶横浜市消費生活総合センターにおける相談情報の活用
- 「こども・安全安心マップ」の活用
(再掲)

＜重点取組＞

■GIS※マップを活用した「暗がりの解消」

これまでの地域からの要望に応えた設置に加え、市が設置している防犯灯の位置情報をもとに、住宅地における、周囲25m以内に灯り（防犯灯）がない場所（電柱）を、「暗がり」の可能性のある場所としてマップに可視化し、防犯灯の設置候補情報として活用することで、効率的かつ計画的に「暗がり」の解消を目指します。

※「GIS」…地図上に位置情報を持つデータを重ね合わせ、コンピュータで管理・分析・可視化する技術



防犯灯の位置情報を記載した地図データ（イメージ）

暗がりのイメージ

取組指標	夜間照度（灯りの充足率）	
	現状（2025）	目標（2029）
	70%	100%

■防犯灯を活用した地域の見守り強化

小学校周辺に防犯カメラ機能を備えた防犯灯を設置するほか、位置情報が確認できるIoT※機能等を追加した「スマート防犯灯」による見守りシステムのモデル事業の効果を検証し、地域の見守りの強化につなげます。

※「IoT」…機器をインターネットにつないで情報を把握する仕組み

取組指標	小学校周辺の防犯カメラ機能付き防犯灯設置率	
	現状（2025）	目標（2029）
	0%	100%

＜重点取組＞

■データ活用による特殊詐欺対策の強化

特殊詐欺の発生状況や手口など、警察等から提供されるデータを活用し、市民への効果的な注意喚起を行います。

また、本市の各部署が日常業務で行う通知や周知の機会を活用し、通知等の対象者に応じた防犯情報をあわせて届けるなど、効率的・効果的に被害防止や犯罪の加担防止につなげます。

取組指標	防犯対策を実施していると答えた市民の割合	
	現状（2025）	目標（2029）
	67.3%	75%

■防犯情報の迅速・効果的な発信

多様化する犯罪の発生情報や速やかな注意喚起を要する防犯情報について、LINE等のSNSや防犯Eメールなど、即時性の高い手段を活用して、スピーディーな周知を図ります。

また、様々な広報媒体を通じて、自らを守る防犯の取組等を分かりやすく発信し、一人ひとりの防犯行動につなげます。

取組指標	防犯対策を実施していると答えた市民の割合	
	現状（2025）	目標（2029）
	67.3%	75%

＜重点取組＞

■「よこはま安心ボックス」の設置支援

ネット通販の普及等に伴い、宅配需要が高まる中で、対面での受け取りへの不安や、盗難、個人情報流出等のリスクがあることを踏まえ、宅配ボックスの設置費用を補助し、安心して荷物を受け取れる環境づくりを進めます。また、再配達削減により、環境負荷の低減にもつなげます。

取組指標	防犯対策を実施していると答えた市民の割合	
	現状 (2025)	目標 (2029)
	67.3%	75%

■地域防犯カメラの設置支援

自治会町内会への防犯カメラの設置補助を通じて、地域の防犯活動を支援し、地域主体の防犯力向上を目指します。

取組指標	防犯カメラの設置率 (自治会町内会新規要望充足率)	
	現状 (2025)	目標 (2029)
	60%	100%

■「ながら見守り※」の強化

通勤・通学や買い物、散歩など、日常生活の中での行動に防犯の視点を取り入れる「ながら見守り」の取組を推進します。無理のない形で地域の見守りを広げることで、地域の安心感の向上を図ります。

取組指標	自治会町内会の防犯活動実施率	
	現状 (2020)	目標 (2029)
	65.7%	100%

※「ながら見守り」は、わんわんパトロールやランニングパトロールなどのほか、自治会町内会等で行っている清掃活動など、身近な地域活動の中に防犯の視点を取り入れることで実践できる見守りです。

■「ハマパト」のモデル実施

地域の自主パトロールが困難な時間帯に、青色回転灯等を装備した車両による防犯パトロール「ハマパト」をモデル実施し、有効性や運用上の課題を整理します。モデル実施にあたっては、実施結果を地域と共有するなどして、地域防犯対策の強化につなげていきます。

取組指標	自治会町内会の防犯活動実施率	
	現状 (2020)	目標 (2029)
	65.7%	100%



／青葉区交通安全対策協議会主催／

夏の交通事故 防止運動 キャンペーン

みんなで
交通安全について
考えてみよう！

なしかちゃんも
やってくる！

12:00～13:00

白バイの

乗車体験もあるよ！

※雨天時、緊急時は展示中止



ステージイベント

12:00～12:25

ボーカルグループ

「ヨコハマ・オーバーガールズ」
による交通安全〇×クイズ&歌



<ヨコハマ・オーバーガールズ>

2017年結成

横浜近郊の老人ホームや地域イベントで活躍する女性ボーカルグループ

7.17 金 12:00▶13:00

会場 青葉区役所 1階 区民ホール